

令和7年度 東京都立中野工科高等学校全日制
学校運営連絡協議会実施報告書

1 組織

- (1) 東京都立中野工科高等学校 学校運営連絡協議会（全日制課程）
- (2) 事務局の構成 教務主任＝事務局長、教務部員3名 計4名
- (3) 内部委員の構成
校長、副校長2名、経営企画室長、主幹教諭(教務部担当)、主幹教諭(生徒部担当)、主任教諭（進路指導担当）、計7名
- (4) 協議委員の構成
保護者代表1名、同窓会代表1名、地域住民代表1名、中学校長1名、小学校長1名
地域警察1名、地域企業1名、地域センター関係代表1名、生徒支援アドバイザー1名
計9名

2 令和7年度学校運営連絡協議会の概要

- (1) 学校運営連絡協議会（第1～3回）の開催日時、出席者、内容、その他
 - 第1回 令和7年6月13日（金）内部委員7名、協議委員8名
 - ① 協議委員委嘱、委員紹介
 - ② 学校運営連絡協議会の趣旨説明
 - ③ 令和6年度の学校経営報告及び令和7年度学校経営計画について
 - ④ 本校の現状と課題等説明
 - ⑤ 意見交換
 - 第2回 令和7年11月20日（木）内部委員7名、協議委員9名
 - ① 学校評価アンケートの実施について
 - ② 学校運営の中間報告
 - ③ 意見交換
 - 第3回 令和8年2月26日（木）内部委員6名、協議委員7名
 - ① 授業参観
 - ② 校務運営の年間報告
 - ③ 学校評価アンケートの結果説明
 - ④ 意見交換及び学校評価について
- (2) 評価委員会の開催日時、会場、出席者、内容、その他
 - 第2回 令和7年11月20日（木）内部委員2名、協議委員2名
今年度の学校評価内容及び実施に向けた検討
 - 第3回 令和8年3月26日（木）内部委員1名、協議委員2名
アンケート集計結果の分析・考察、課題の整理、報告内容の確認

3 学校運営連絡協議会による学校評価（学校評価報告）

- (1) 学校評価の観点
「学校への理解」「学校の意欲」「学校の実践」の観点で実施する。
- (2) アンケート調査の実施時期・対象・規模
 - ・ 12月 全校生徒 280人／324人
 - ・ 12月 保護者全員 147人／324人
 - ・ 12月 教職員 32人／49人
 - ・ 2月 近隣住人 26人
 - ・ 12月 近隣中学生 128人

(3) 主な評価項目

学校運営、学習指導、生活指導、進路指導、特別活動・部活動、健康・安全、施設・設備

- (4) 評価結果の概要（学校及び校長への意見・提言内容）
 - ① エンカレッジスクールの特徴や資格取得など中野工科高校の特色を前面に出した学校案内やHPの充実、さらに様々な広報活動に力を入れて取り組んで欲しい。
 - ② 進路指導では、生徒の適性をよく見極め、生徒の適性にマッチした進路指導をお願いしたい。
 - ③ 生徒及び保護者から資格取得について、大きな期待をされているので。食品サイエンス科に関わらず様々な資格指導を行うとよい。広報活動にも活かせる。

(5) 評価結果の分析・考察（学校及び校長への意見・提言）

①生徒のアンケートより

設問 1 より、76.2%の生徒が学校生活を楽しんでいるのが分かる。その要因として表 1 の結果より、学校生活を支える対応が適切にできているからと考える。

表 1

設問 3	第 2 学年から類型別となる本校の特色は、あなたの進路実現や将来を決めるのに役立っていると思いますか。	73.3%
設問 8	生徒の健康や安全についての指導が、適切に行われていると思いますか。	74.3%
設問 10	授業や学校行事を通して、多様な体験ができていますか。	70.6%
設問 16	先生方は親しみやすく生徒のことに親身になってくれますか。	74.7%

2 設問 2 では、学校生活は楽しんでいるにもかかわらず、受験生に入学を勧める割合が 42.5%と低い。表 2 より、仮設校舎による学校行事や部活動の縮小、学校の生活の決まりを守れないことが考えられる。

表 2

設問 9	学校行事や部活動は盛んだと思いますか。	46.7%
設問 11	中野工業の生徒は、学校の生活の決まりを守っていると思いますか。	36.9%

②保護者のアンケートより

生徒のアンケート同様に設問 1 が、87.4%の保護者が学校生活を楽しく過ごしていると認識している。表 3 の結果より、学校生活を支える対応が適切にできているからと考える。

表 3

設問 3	第 2 学年から類型別となる本校の特色は、お子さんの進路実現や将来を決めるのに役立っていると思いますか。	75.8%
設問 4	授業内容（カリキュラム）は、就職や進学のために生徒一人一人の学力を伸ばすものになっていると思いますか。	77.3%
設問 9	お子さんは部活動や学校行事等を通して、多様な体験ができていますか。	70.1%

3 設問 8 を見てみると、41.3%と低く、コロナ感染対策明けで学校行事、部活動をに力を入れてほしい期待の裏腹であると考え。また、表 4 より学力向上に重点に置いた指導を望んでいる事が伺える。

表 4

設問 20	学校に求めるものは何ですか。 ①学習指導の強化	24.3%
	学校に求めるものは何ですか。 ③資格取得	46.2%

4 学校運営連絡協議会の成果と課題（学校の自己評価へ反映）

(1) 学校運営連絡協議会を実施して得られた成果

- ① 警察の協議員からネットでの闇バイトや特殊詐欺など高校生が関わる犯罪が増えているという情報を得て、SHRなどで度々、生徒への情報提供を行い、犯罪の抑止に役立っている。
- ② 工業高校改革による食品サイエンス科へ学科改編に対する地域の働きかけや資料の不足から理解が進んでいないことが分かった。地域役員会へ定期的に参加し説明を進めるなど広報活動を強化する。
- ③ クラッシーを使った保護者連絡だけでなく、ホームページや「月刊中工ニュース」により学校生活の視覚化を進めた事で多くの人に学校の様子を知らせることができた。
- ④ 資格取得についての情報を、積極的に生徒・保護者へ発信する。
- ⑤ 工科系の資格・検定だけでなく、漢字検定や英語検定、秘書検定などについても積極的に取り組む。

(2) 学校運営連絡協議会を実施して明らかとなった課題と対応

- ① 校内寺子屋事業の取組を改善し学力の向上したことについて、評価を得た。今後、学力の高い生徒も伸ばすとともに学力不振による中途退学を防ぐ。
- ② エンカレッジ先進校や特別支援校から講師を招くなど、校内研修の充実を図る。
- ③ ホームページの更新回数を増やしたり、生徒のページを作るなど WEB を使った広報活動を工夫し、中学生やその保護者が興味を引くような内容を充実させる。
- ④ 工業系の特定の職業や社会的地位等を得る事が出来る資格の取得・検定だけでなく、漢字検定や英語検定などの資格取得についても積極的に行い、生徒のモチベーションにつなげる。
- ⑤ 中野区の中学生とも積極的に交流し、中野工科高校を PR する。

5 学校運営連絡協議会及び学校評価を活用した教育活動の改善事項（学校経営計画へ反映）

(1) 学校運営

- ① 学校経営計画を戦略的に推進していくための進行管理を行う。
- ② 学び直しやきめ細やかな指導により基礎・基本の学力定着を図るとともに、多様な体験学習や特色ある専門教科を通じて、生徒が自らの適性を知り進路指導を進める。
- ③ 可能性はありながら力を発揮しきれない生徒を、3年間を通して、社会人として必要な基礎・基本を身につけさせる。また、ものづくりを通して自己の在り方生き方を見つめ、社会人として自立していく力を培うために、自らの可能性を信じてチャレンジさせる。
- ④ 様々な資格取得に挑戦させ、生徒に自信をつけさせる。

(2) 学習指導

- ① 「食品工業のある工科高校」の強みを活かし、実習、実験を充実させるとともに哲学対話やアクティブ・ラーニングの取り組み力を入れ独自性・独創性のある教育研究を行う。
- ② 全教員がICT機器を使った授業を積極的に推進するとともに使用回数を増やし生徒の理解を深められるようにする。
- ③ ICTの活用を進め、生徒自身の一人一台端末を使用した主体的な学習を実施していく。
- ④ 校内寺子屋を活用することで、学び直しや補習時間を確保し学力の定着を図る。
- ⑤ 相互授業参観や授業見学会などを通して、授業改善に取り組む。

(3) 特別活動

- ① 生徒が主体的に体育祭や文化祭などの行事を運営できるように指導していくことで、自主性を育む。
- ② 年度当初に部活動体験を実施し、部活動加入率を高める。また、各顧問で協力しながら入部後も定着させるための工夫・努力を行う。

(4) 生活指導

- ① 教員全員が生徒指導の規定を熟知し、学校が一体となった指導を確立する。
- ② 「あいさつを大事にして高校生らしい身だしなみ」「公共のマナーの向上」を推進し、さらに自転車乗車時のヘルメット着用を、全教職員一丸となって指導を進める。
- ③ 相互授業参観を通じて、全職員が生徒指導を行う環境整え、授業規律の定着を図る。

(5) 進路指導

- ① キャリア教育の全体計画を周知し、全教員で具現化する。
- ② YSWと連携し、進路指導をきめ細やかにするとともに、卒業後も支援をしていく。

(6) 健康・安全

- ① 家庭とともに協力して基本的な生活習慣が身につくように指導していく。また、セーフティ教室、薬物乱用防止教室等を引き続き実施して、健康な生活が送れるよう指導する。

6 「学校がよくなった」と考える協議委員の割合

(1) 協議委員人数 9人

そう思う	多少そう思う	どちらとも言えない	あまりそう思わない	そうは思わない	分からない	無回答
6	1		0	0	0	2

7 職員会議及び企画調整会議への協議委員の参加実績及び成果
なし

8 その他

- ① 学校評価アンケートや外部の説明会、事項の説明会にて、アンケートを実施し、結果を分析し活用していく。
- ② 次年度は、授業公開日に協議委員の方へ案内を行い、評価をお願いする。また、地域の方への案内も広報活動を兼ねて授業公開の案内を行う。